

PART 22

《サークル全員の前で全裸四つん這いのままコートを半周した彩。男子や後輩の命令で尻を振り、笑顔でワンと言わされ、朦朧としている》

「若杉先輩可愛い！」 「先輩は全裸が一番ですねw」
「それじゃあ今度は、伏せ！」
「…これでいい？」

《時間停止。優香が尻を持ち上げる》

「…え？ きゃあ！」

「伏せでケツあげるか、普通w」

「先輩さいてーw」

「違うの？」

《尻を落とそうともがくが、腰は下がらず左右に揺れるだけ》

「え、どうして？」 「ケツ振りサービスw」

「先輩が露出狂だからでしょ？」

「エッチにお尻振らないでくださいw」

（ちよつといじっていい？）

（またですか？w）

《時間停止。浩が彩の横に膝立ちに》

（肘を曲げてケツを上げて、と）

（うわ、恥ずかし過ぎるw）

（しかしこれ、どう見ても入れて
てってポーズだよな…）

《彩のお尻の穴に指を入れる浩》

（おお、本当に入れちゃった）

（やだあ）（かわいそうw）

（ぐりぐりぐりっと）

《さんざん指を出し入れしてお尻の
穴の中の感触を味わった浩》

（やっぱり、アソコも少し触って
いいかな…おおお！）

（うわ、やりすぎいいw）

（先輩、感じすぎちゃいますよw）

（そろそろ声を聴きたいな）

《時間停止解除》

《快感が一気に押し寄せ、全身をビクンと震わせた彩》
「い、いやあああ！ あ、あ、ああんこ」
「きゃあー！」 「どうしたんですか？」
「ちがつ…あ、あうう、あはあっ」
「すごい喘ぎ声」 「ケツ振りすぎw」
「見ないで！ あん、あん、あああ」
「すっげえエロいな」
「最低の変態ですなえw」

「犬が喋った！」
「ワン、でしょ？」

「……」

《時間停止》

（反抗した罰ねw）

《指を二穴に同時挿入し、
奥まで抉る》

「あ、あひいー！…ワン！」

「うわ、すっごい感じ方」

「見られて嬉しんだw」

「今日は幸せですねw」

（絶対違うのに…気持ちいい…）

《やっと尻穴責めから解放されたが、荒い息を吐いて茫然としている彩》

「はあ、はあ…」（どうして自分からエッチな恰好になっちゃうの？　なんで気持ちいいの…？）

「先輩、気持ちよかったですかあ？」

「感じまくってましたね」

「顔真っ赤ですよw」

「彩ちゃん、感じた後のアソコ見せてよ」

「濡れてるかみんなで見えてあげる」

「…ワン？」（嘘でしょ）

「それじゃあ、もう一回お尻を思いっきりあげて、自分の手でアソコを開いて見せてくれる」

「っ！　ワン！」《激しく首を振る》

「どうしたのかな？」「確かに犬には無理かw」

「人間の女の子にも無理w」「…でやめます？」

「…」（もう許して）



《時間停止。優香が尻を持ち上げ、浩が足を開き、
礼奈が両手を腰の周りに持つてくる》

(これでよしっと) (あ、顔も…こんな感じで)
(へえ、表情もいじれるのか!…可哀想w)

《時間停止解除》

「きゃああつ!」

「うわ、最高!」

「犬がお尻ひらいたw」

「そこまでしなくていいのに」
「にこにご舌出しちゃって!」
「そんなに見られたいですか?」
「ぐしよ濡れなんですけど!」
「撮りますよ」 「はい、チーズ!」
(こんな格好、撮らないでえ!)

《牝犬ポーズで喘ぎ悶える痴態を晒した彩。後輩女子に嘲笑されながら更に歩き、最終コーナーへ》

「せんぱーい、今度はおしっこしてくださーい」

「あー、犬なら定番ポーズだよね」「見たーい」

「まさか、若杉が？w」「二年、鬼だなw」

「そんな…きゃああつ！」

「え、いきなり足上げる？」

「大胆だねーw」

《時間停止で強制的にポーズをとらされた彩》

（嘘でしょ、私…本当にこれが現実？）

「もっと開いてー」「おしっこ見せてー」

「出るまで終わりませんよー」（二年怖いw）

「ねえ、まだ出ないんですかあ」

「がんばれー、先輩」「返事は？」

「わ、わんっ…」(急に出ないわよ)

《時間停止》「…いやあっ」

《がばっと足を開く》

「ど変態ポーズw」

「先輩、すごい」

「丸見えますよー」

「おーしっこ」「おーしっこ!」「返事はー?」

《手拍子と共におしっこコールがコートに響く》

「ワンワン!」《2穴をヒクつかせ更に笑われる》

《3分牝犬ポーズをさせられたがおしっこは出ず、ちんちんポーズでお詫びをするよう命令される》

「皆様、犬なのにおしっこができてなくてごめんなさい…だわん」（もう嫌、早く終わって…）

「あはは、犬語でしゃべってる」「諦めたらダメっていつも叱られたんですけど」「みんな、どうする?」「おしっこは保留にしよっか」

「じゃあ次の罰ゲームを宣言してもらおうよ」

「これ以上恥ずかしいことって何かなあ」

（これ以上なんてあるわけないでしょ）



「オナニーショー!」

「いいねえw」

「ひえーw」

「…」（いやあ!）

《コートに拍手と悲鳴》

「それは可哀そうだよ」

「じゃあこんなのどう?」

《優香に囁かれた彩。一瞬目を泳がせる》

「…次のゲームを取られたら、オナニーポーズを披

露します…わん!」

PART 23

《第8ゲーム開始。彩のサービスゲーム》

「また若杉の全裸サービスw」「おっぱい突き出して頑張ってる」「先輩、ファイト!」「エース決めましょう」

《トスを上げた瞬間に時間停止》

(彩ちゃんはここを感じるんだよねw)

《乳房を揉み、乳首を弄ってから時間停止解除》

「あ、ああんっ」(嘘、どうして気持ちいいの?)

《2本とも邪魔されダブルフォルト》

「やだ、先輩w」「感じ過ぎてサービスもできなくなっちゃった」「変な声出さないでくださいw」

「オナニーが待ちきれない?」「喘ぎ声エロ過ぎw」

(みんな完全に楽しんでるねw)

(憧れの先輩もすっかり堕ちたわねw)

(よし、次のポイントは正々堂々勝負するぞ)

(全裸がすでにハンディなんですけどw)

《2ポイント目。鋭いサーブが入る》

「おりゃー！」（合わせるのがやつとだな）

（打ちごろの球が来た！ けど…）

「えいっ！」《突然の快感に怯え、腰が入らない彩》

《彩の球が鋭さを欠き、ラリーが続く》

「おりゃー！」（これで決まったか？）

「えいっ！」（もっと強く打たないと…）

「滝沢のコース、完全に読まれてるな」「いつもの若杉ならとつくに決めてるな」「ま、若杉の全裸テニスが見れるならどんだけ続いてもいいけどw」

《ついに滝沢がミス。15オールに》

（よし、このゲームを取れば終わりよ……そしたら、写真も動画も消してもらえるんだから…）

《3ポイント目。彩のトス直前に時間停止》

「やっぱり勝てないからこうしようっとw」

《彩の股

「もう、仕方ないなあw」

《彩の背後から乳房を揉み

《時間停止解除》

「あ、ああん、あはあ！」



《次のトスでも快感責めされ、サーブが打てない彩》

「若杉、次にサーブしなかったらペナルティだぞ」

《次も快感責めされ、トスが上がりずアンダーサーブ》

「うりゃー！」

《思い切り打ち込む》

（絶対取る！）

「…あ、ああんっ！」

「ライフティ・サーティ」

《4ポイント目。サーブは邪魔されずラリーが続く》

「おりゃ」 (今度こそ実力で取るぞ！)

「えい！」 (このポイントは大事なんだから！)

《突然の快感に怯えながらラリーを続ける彩。股間を触られたショックで腰が引けてしまう》

(やっぱりいいケツしてるなw)

(ニヤニヤしないで決めてください)

(せっかく若杉先輩が力が入らないんですから)



《浩が決めきれずラリーが続く》

「おりゃ」 (やつぱりあのケツ触りたい…)

「えい！」 (ああ、なかなか決まらない)

《浩のボールが浅くなり、彩はネットへダッシュ》

(ボレーで決めるわ！)

《時間停止》

「いいポーズだねw」

《彩の後ろに回り込み手を伸ばし、二つの穴に指を出し入れする浩》

「ちよつとやりすぎw」

《時間停止解除。ボールに飛びつこうとする彩》

「…ん、んんう」

《二つの穴からの快感に足がよろけ、思わず目を瞑つて喘ぐ彩》

《どうして？ いつも大事な時に…》 《必死にラケットを伸ばす》

（やばっ！）

《時間停止、再度お尻の穴を責める浩》

「あ、あ、ああ！」

《ラケットの先端にボールが当たり、コートの外へ》

「ライフティ・フォーティ」

「惜しかったです」 「喘ぎ過ぎですけどw」

「あと一本でオナニーポーズ」 「楽しみ過ぎるw」

《5ポイント目。1stサーブは妨害され、2ndサーブからラリーが続く》

「えいっ！」（絶対に落とせない！）

「ナイスショットです」 「負けないで！」

「よく裸でできますねw」

「若杉がんばってるな」 「おっぱいプルプルw」

（ヤジなんて気にしないわ！）

《時間停止。彩に駆け寄る浩》

（やっぱり若杉には勝てないや）

「あれ、もう一本取られてもいいのに」

「やっと実力の差を認めましたか？」

「なんとも言ってくれ」

《彩の膝を曲げてバランスを崩し、時間停止解除》

「え？ きゃあっ！」

《彩が尻もちをつく。再度時間停止》

「安直ねえw」「どうせならこうしよっか」

「よし、せーのこ」

《時間停止解除》

「痛っ…きゃ、きゃああ」 (なんでこんな格好?)

「彩ちゃんおっぴろげ!w」「そんなに見てほしいんだ?」「女子、撮っとけよ」「もうこんな写真ばっかなんですけどw」「本当に好きですねえw」

「いや、撮らないで!」 (足が動かない…)

「ゲーム、滝沢」

《手が動くようになった彩、慌てて股間を隠す》

「……」(絶対嘘よ、こんなの……)

「はい、オナニーポーズ決定!」「あれ、もう始まつてる?」「彩ちゃんはM字でするんだw」

「先輩、しっかり撮影してあげますからね」「手の位置が違うんじゃないですか?」

「もう許して、お願い……」

《涙目の彩に男子が怯む》

「さすがにまずいか……」「ちよつと可哀想だな」「この辺にしとくか」

「諦めたら負けっつていつも言ってますよね」「私たちが泣いても許してくれなかったんですけど」「約束は守らないと」「さんざん見られて今更ですよね」

《優香と礼奈の煽動に一年女子が同調し、許しかけた雰囲気が一掃される》

PART 24

「それでは、先輩のオナニーポーズ公開です！」
「待ってましたー」 「彩ちゃん、どんなオナニーして
るのかなw」 「手伝おうか？」

「…やっぱり、できない…」

「え、今更あ？」 「もう全部見られてるくせにw」

「じゃ、男子にも今までのデータ共有ですね」

「犬のおしっこポーズとか、四つん這いで
ケツ振りとか」 「一生使えるなw」

「駄目え！ 分かったから…」

《おずおずと胸に手を当てる彩》

（ポーズだけ、なんだから）

「あれ、罰ゲームの前に挨拶するルールですよね？」

「皆様、若杉彩のオナニーポーズを、ご覧ください…」

《ニヤニヤ見つめる男女を見て、頭がぼうつとなる彩》

「はーい、勉強しまーすw」 「まずは胸からなんだw」

「なんか、揉み方がエッチw」 「おっきいですねえ」

「撮りますから、こっちに視線お願いしまーすw」

（ひどい、優香ちゃん…）



《両手で双乳を握る姿をしばらく晒した彩》

「あの、もう、終わっていいですか？」

「え、そんなわけないですよね？」

「若杉、おっぱいだけでイクの？」 「今更ぶりっ子w」

「本気オナニーのポーズ見せてよ」

「早くしないと練習時間終わっちゃいますよ」

「そしたら続きは大学のコートでですねw」

「w大のと真ん中で公開オナニーw」

「わ、分かったから…」

《右手を下ろし、股間に当てる》

「これでいい、ですか…？」

（ああ、こんな格好…）

《恥辱に震える彩の表情を堪能するギャラリ―》

「雰囲気出てきたけど…」 「もう少しだな」 「胸はもつ
としっかり揉んで」 「アソコに指を入れなきや」

「やだ、恥ずかしすぎーw」 「先輩ならできます！w」

「そ、そんな…」 （みんな、あんまりよ…）

《浩、優香、礼奈が目を見合わせて頷きあう》

（そろそろかな） （そうですねえ） （手伝いますか）

《時間停止。3人が彩に駆け寄り、彩の脚を開いたまま膝立ちにさせ、両手を弄る》

(ふふ、こんな感じね) (男子のアイドルですねw)
《時間停止解除》

「…え、何? きゃ、いやあっ」《顔を真っ赤にして悲鳴をあげるが、身体が動かない》

「おお、いいねえ!」 「膝立ちオナニーとかエロ!」
「先輩、練習中ですよw」 「最低ですねw」



「ち、違うのっ! 身体が勝手に…」

「無意識にそんな格好しちゃうんだw」
「ド変態だなw」 「オナニー大好き!」

「動画撮りますよー、こっち見てー」

「いやあっつ、こんな格好、撮らないで!」

「ゴートでオナニーする変態女の動画!w」

「ここで終わって男子全員に共有してもいいよw」

「動画なので、動きが欲しいですね」

「感じてる顔も!」 「アソコに指入れちゃえ!」

「無理よ、そんなのっ!」 (身体が動かない…)

《時間停止。浩・優香・礼奈が再び彩の周りに集合》

（いよいよオナニーショーです）（うんと感じさせてあげますねえ）（おっぱい柔らかいなw）

《双乳と秘部をさんざん弄って性感を高めてから、彩の指を秘裂に挿入し、時間停止解除》

「あ、あつ、ああ、ああん！」（嘘っ、何これ？）

《突然オナニーを始めた彩を見て、啞然とするギャラリ―》

「うわっ」「すっげえ」

「ポーズだけでいいのにw」

「指2本出し入れとかw」

「喘ぎ声エロすぎw」

「え、なんで、あ、ああんっ！」

《何度も時間停止され、指の抜き差しを繰り返されて悶える彩》

「ひえっ」「気持ちよさそうw」

「本当に変態ですね」「録画しときますね」

《時間停止でさんざん悶えさせられた彩。
絶頂寸前で許される》

「ま、ポーズはこのくらいでいいかな」

「本当にするからびつくりしちゃったw」

「…早く、次のゲームを」(1ゲーム取れば終わり。
今までのデータも消去される…)

「その前に、次のゲームを取られた
場合の罰ゲームの宣言があるよな」

「くばあしながら言ってー」

「さんせーい」「いいねー」

「何言ってるの…きやああっ」
(いやああっっ！)

《時間停止で自ら秘裂を開かされ、強制笑顔の彩》

「カメラ貸して…よし、超ローアングルでバッチリ！」

「エロすぎ！」「笑顔でくばあってド変態だなw」

「うわ、ぐっしより濡れてる！ほら」

《浩から男子たちにカメラが回覧される》

「いやあ、見ないで！」「若杉のアソコぐしょ濡れw」

「ピンクで綺麗です！」「脳裏に焼き付けたw」

《次の罰ゲームは四つん這いでイクまでオナニーと宣言させられた彩。死ぬ気でプレーしたが時間停止で妨害され、結局、浩にゲームを取られてしまう》

「先輩、惜しかったですね」

「それでは、罰ゲームをよろしくです」

「若杉が四つん這いオナニーショーw」

「ちよつと可哀想w」

「自業自得でしょ」

「変態だもんねw」

《諦めて四つん這いになる彩》

「ほら、始めなよ」

「…やっぱりできない」

《救いを求める目で浩を見る》

「…分かった。ポーズだけでいいよ」

「え？ 本当に？」

「え？」 「なんで？」

《2人に目配せする浩》

《不満げなギャラリを彩の前にしやがみ込む浩》

「その代わり、3分間その格好でいるんだ」

「…分かったわ」(恥ずかしくて死にそうだけど)

「3分間、自分からオナニーしなかったら若杉の勝ちってことにして、全部終わりにしてやる」

「する訳ないでしょ…それで終わりにしてくれるの?」

「でもお前、露出狂だから我慢できないだろ?w」

「ふざけないでよっ!」(浩をきつと睨む)

「そういうことか」「そろそろ時間だしな」

「案外優しいな、滝沢」「最後にわざと負けるのか」

「動画ほしかったけどなあ」

「いいお灸だったわね」「もう1年に威張れないねw」

(あと3分だけで、全部終わるのよ…)

(ああ、そういうことね)

(滝沢さん、意地悪w)

「みんな、後ろから2つの穴じっくり見ようぜ」

「露出狂の若杉に協力してやるかあ」

「雰囲気盛り上げたらオナニー始めたりしてw」

「やだ、男子たち意地悪w」「私も見てあげよう」と

「……」(ひどい、みんな)

《皆が彩の真後ろに移動し、股間に顔を近づける》

「うわ、お尻の穴がピクピクしてるw」

「アソコも濡れて光ってるー」

「女子、どけよ」「早くしろー」「時間無いぞー!」

《時間停止》

「こんな感じで2本指入れてっ」と「意地悪ねえw」

「じゃあ私は気持ちよくしてあげようっ」と

《時間停止解除。彩の指が秘裂の奥まで入っている》

「え、きやあつ、あ、ああん」(嘘、どうして?)

「おお、本当に始めた!w」「2本指で激しすぎw」

「嘘でしょ!」「完全に軽蔑!」「うっわあ最悪」

「ち、ちがうのっ、あ、あん、あひいいっ」

《指を抜く度に時間停止で秘裂の奥に挿入され、何度も
激しく抜き差しをしてしまう彩》

「い、いやあつ……く、くうう……は、はっ」

「すげえ指の動き……」 「見られて興奮してるんだな」

「まさか、若杉がこんなにエロいオナニーするとは」

「先輩、神聖なコートで何してるんですかあw」

「見てる方が恥ずかしくて仕方ないんですけど」

く、くうう」

（先輩、同じ手に何度もひっかかりますねw）（まあ、

時間停止なんて思わないからね）（本当に自分が露出

狂の変態かもって思ってるだろうなw）

「ついに自分からオナニー始めたな。お前の負けだぞ」
「違う！ 私そんなことしてないっ…あっ、ああん…」
「まだ認めないw」「どう見てもしてるんだけどw」
「先輩、負けは素直に認めないと」「往生際悪すぎw」
《時間停止。礼奈が性感を徹底的に責め、優香が耳元に囁く『イク時は大きな声でイクって言うんですよ』》
《時間停止解除》
「あ、あっ、あああ」

「すっげえ、完全に本気！」「指の動き激しすぎw」
「きゃああっ」「ここはテニスコートですよw」
「あ、あひい、だ、だめえ、あああ……若杉、彩、イ
くう！ イツちゃううう…」

《全身をビクビク震わせて絶頂に達した彩。
尻を突き上げたまま失神》

「ついにイッた…」 「あの若杉がねえ」

「いき方エロ過ぎ！w」

「笑ってるね」

「最後までぜーんぶ、
録画しましたーw」

「証拠が必要だもんね」

「一生の宝物だな」

「あ、ああん…」

《時間停止で性感責めされ、
喘いで尻を振る彩》

「もうやだ、先輩！」

「いい夢見てるのかな」

「アソコぐしょ濡れw」

「で、この後はどうしよつか？」

「あー、もう時間切れですね」

「先輩失神してるし、今日はここまでにしよつか」

「最後は皆で練習ですよね」 「先輩邪魔でーすw」

PART 25

《失神から醒めるとネットに全裸で拘束されている彩》

「……え、何、これっ！ いやあっ」

「やっと起きたか」「すごいオナニーだったね」「オナニーしてなかったとは言わせないよ？」
「証拠の録画を確認します？」

「…お願い、解いて」
（どうして私、あんなことを）



「じゃあ、オナニーしてイッちゃったこと、認めるんだな」

「認めるって、どうすれば？」

「皆の前でオナニーしてイッちゃいました、って言って録画してもらうとか」

「そんな！」
（酷すぎる、そんなの）

「あ、あんっ！」

《後ろに回った浩がラケットを握って上下に揺らす》

「滝沢くんっ！ やめて、あ、あん、駄目っ」

「オナニーしてないなんて嘘言った罰だな……ほら！」

「く、くうう…あ、ああ…ごめんなさい、謝るから！」

「ちゃんと謝るなら許してあげてもいいですよ」

「分かったわ、ちゃんと謝るから…あううう、やめて」

「ラケットで感じてるw」

「最低ですね、先輩」

「ケツ振って嬉しそう」

「ほんと、変態！」

「違うの！ あ、あんっ」

「それじゃあ、こんな風に謝ってくださいね…」

「そんな！ あひい…分かったから、もう離して…」

《女子たちがカメラを構える中、恥辱に震える彩。少し躊躇った後、強要された笑顔を浮かべ、唇を開く》

「…W大学法学部2年の若杉彩、です。私は人に裸を見てもらうと感じちゃう、露出狂です…さっきは、サークルのみんなが見ている前でオナニーしてイッちゃいました…とっても、気持ち、良かったです…」

《少し沈黙》

「続きは？」

「時間無いです」

「焦らさないでくださーい」

「ご、ごめんなさいっ」

（やっぱり誰も助けてくれないのね…）

「今日の練習が終わるまで、この格好で皆を応援させてください…また、もし練習が終わるまでに私がイッちゃったら…大学でも皆の露出命令に従います！」（いやあっ）

「さすが露出狂！」「大学で全裸テニスW」「教室で全裸もいいなW」「あっきれた」「わざとイくかもW」

（こんな状態でいくわけないじゃない！）

《皆のラリーの練習が始まる。ボールがネットにぶつかる度にラケットが震えて股間を刺激する》

「夏美ちゃん、もつとボールを良く見て…あ、あんっ」

「え、なんですか？」「ちゃんと指導してください」

「だから、打つ瞬間に目が…、あ、ああー」

「どうしてこんなに気持ちいいの？ 私、本当に？」

《実は時間停止で秘部を弄られている彩》

（なんか、どんどん敏感に…）

（なってますねえ）

（ちよつと触るだけでぐっしよりw）

く、くううう、あはあ…」

「変な声出さないでよ、先輩」

「あ、しっぱーい」（わざとネットにボールをぶつける）

「あっ、あひいい…あああ…だめえっ」

「何が駄目なのかな」「これかな？」「あ、あんっ！」

《男子達が彩のラケットにボールを連続でぶつける》

「それ！」「もう一個！」「あ、あ、ああん、イくう…」



《ラケットの振動で絶頂に達し、茫然とする彩》

「最後に宣言してもらって、今日は終わりにしましょ」

「露出狂らしく、こんな格好でね」

「え、ちよっと!」

《縄を解かれ、ラケットを後ろに抱えさせられた彩》

「先輩、こう言ってください!」

（あんな姿まで撮られた! 従うしかないのね!）

「私、若杉彩は、全裸でテニスをして、気持ち良くて何
度もイッてしまいました!」

「...皆様、大学でもたくさん恥ずかしい命令をしてくだ
さい。ただ、社会的に破滅しないよう、皆様で守ってく
ださい!」（どうして私がこんな!）

「私達が守ってあげますよw」

「大学では何しよつか」

「講義中にパンティ脱いでw」

「ビキニでテニス!」

「はい、これで練習は終わり。
ランニングしてください」

先輩はその格好で宿まで

「え、こんな格好で無理よ!」

「私達が周りを囲んで走

りますから」 「ラケット落としたらやり直しですよ」

「公道を全裸ランニング!」

「いきなりひどい命令w」

「俺たちを信じるならできるよなw」

《W大学キャンパス。合宿後、最初のテニス練習前》

「若杉、やっぱりそのウェア、似合ってるね」

「あ、滝沢くん…」（会いたくなかったな）

「この前の合宿、楽しかったね」

「え、う、うん…」（ふざけないで！）でも、逆らったら、あの動画を公開されちゃう…！

「それでさ、若杉のお願いの件なんだけど…」

「お願いって？」（まさか、あのことじゃないよね）

「ほら、私は露出狂だから、大学でもたくさん恥ずかしい命令してくださいって奴」

「え、あれはあの場で仕方なく……」

「とにかく、そのウェア脱いじやおうか？」

《彩の目がはっと見開かれる》

「そんな！ 大学のコートじゃ他の人に見られちゃう！
絶対無理よ！」

「じゃあ俺との試合の続きをする？ そしたら彩ちゃん
は全裸スタートだねw」

「…お願い、許して」（悔しい）

「大丈夫、ちゃんとウェアは用意してきたから」

「…分かったわ。更衣室で着替えてくるから、そのウェアをちょうだい」

「露出狂なんだからここで脱いでよ」

「そ、そんな…」



「ついでに録画するから、カメラを見ながら脱いでよ」

「そんな！ 誰か来たら…」

「ここはコート使う奴以外来ないよ。はい、スタート！
セリフ付きでね」 《セリフの紙を広げて見せる》

「…W大学3年の若杉、彩です。今日は、大学のキャンパスで脱いじゃいます！」 （誰も来ないで！）

《下着を脱ぐまで替えのウェアを渡してもらえない彩。
ついに全裸に》

「若杉はやっぱり全裸が似合うねw」

「お願い、はやくウェアをちょうだい！」

「まだ大丈夫だから、少し撮ってあげるよ。ダブルピースして、にっこり笑って」《スマホを構える》

「そ、そんな……若杉彩、通っている大学の中ですよ
んぽんになっちゃいました！ とっても気持ちいいです！」
(ひどい、こんなの！)



《陰から見ていた優香と礼奈が登場》

「うわ、大学でもやってるw」

「全裸ダブルピースって、本当に露出狂なんですねw」

「きゃ、み、見ないで！ これは違うの」

「さすがにこの格好で大学のテニスコートは無理だなw
はい、これが替えのウェア」

「え、これ？」

「すごく可愛い！」 「絶対似合いますよ」

《渡されたマイクロビキニを着た彩》

「やっぱりこんなの無理よ！」

「大丈夫、可愛いですよ」 「亀甲縛りよりいいだろw」

「キャンパスじゃちよっと目立つけどw」

「二つゲームしようか」

「え、ゲーム？」

「その格好でラケットを後ろに抱えて、キャンパスの講堂前を通ってテニスコートまで歩くんだ。ラケットを落とさなかったら若杉の勝ち」

「私が勝ったら、もうこんなことしないでいい？」

「ああ。でも負けたら、大学ではずっとその格好な」

「そんな…」

《しばらく躊躇う彩》

「分かったわ、その勝負、やるわ」 （今の時間なら講堂前にも人は少ないはず。死ぬほど恥ずかしいけど…）

「よし決まり」 「頑張って！」 「応援してます！」

（彩ちゃんのクラス全員が講堂前で待ってるけどw）

（水泳部にも声かけとききましたよw）

（時間停止で感じさせられても我慢できるかなw）

（ビキニの紐が解けたりしてw） （可哀想すぎw）

《彩のキャンパスでの恥辱生活が始まった…》 （完）

使用したプログラム・素材等

- 本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。 (http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php)
- また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。
- 本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。転載・販売等を行わないようお願いします。